

平成30年(2018)1月15日

ボーイスカウトの教育効果に関する研究 ～事前調査の調査結果 報告書～

拝啓 新春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年 4月に調査へのご協力をお願いしました「ボーイスカウトにおける教育効果に関する研究」に、ご協力いただきありがとうございました。おかげさまで、34 府県の 457 名のスカウトにご協力いただくことができました。スカウト、指導者、保護者の皆様にあらためて感謝いたします。ありがとうございます。

この度、アンケートの集計結果が出ましたので、簡単ではございますが結果の概要をご紹介します。今後、論文や web 報告等の形で、広く報告・活用させていただきます。

敬具

スカウト教育研究プロジェクト (SERP)
(Scout Education Research Project)
研究代表：田中 優 (大妻女子大学)

調査の目的

本研究では、スカウト教育の効果測定の可能性を確認することを主眼とし、一年の活動の前後で調査を実施し、スカウト教育の効果を明らかにすることを目的としました。

調査概要

主な調査内容は、(1)ボーイスカウト活動について、(2)生きる力、(3) 社会性と情緒の学習 (SEL-8S)、(4)ストレスコーピング、(5)リーダーシップ、(6)自尊心。

評価は、すべての項目について、1：まったくあてはまらない、2：あてはまらない、3：どちらでもない、4：あてはまる、5：非常にあてはまるの5段階評価。

表1：事前調査・事後調査での調査内容

(1)ボーイスカウト活動について

①活動の楽しさ、②ボーイスカウト活動の目標、③興味・自信のある技能、④進級への意欲

(2)「生きる力」：「IKR 評価用紙(簡易版)」(独立行政法人国立青少年教育振興機構、2010)

28 項目(心理的社会的能力：14 項目、徳育的能力：8 項目、身体的能力：6 項目)

(3)「社会性と情緒の学習 (SEL-8S)」(小泉、2011)

26 項目(基本的社会的能力：15 項目、応用的社会的能力：9 項目、虚偽尺度：2 項目)

(4)「ストレスコーピング」：3 項目(問題焦点型・ストレス解消(発散)型・社会的支援型)

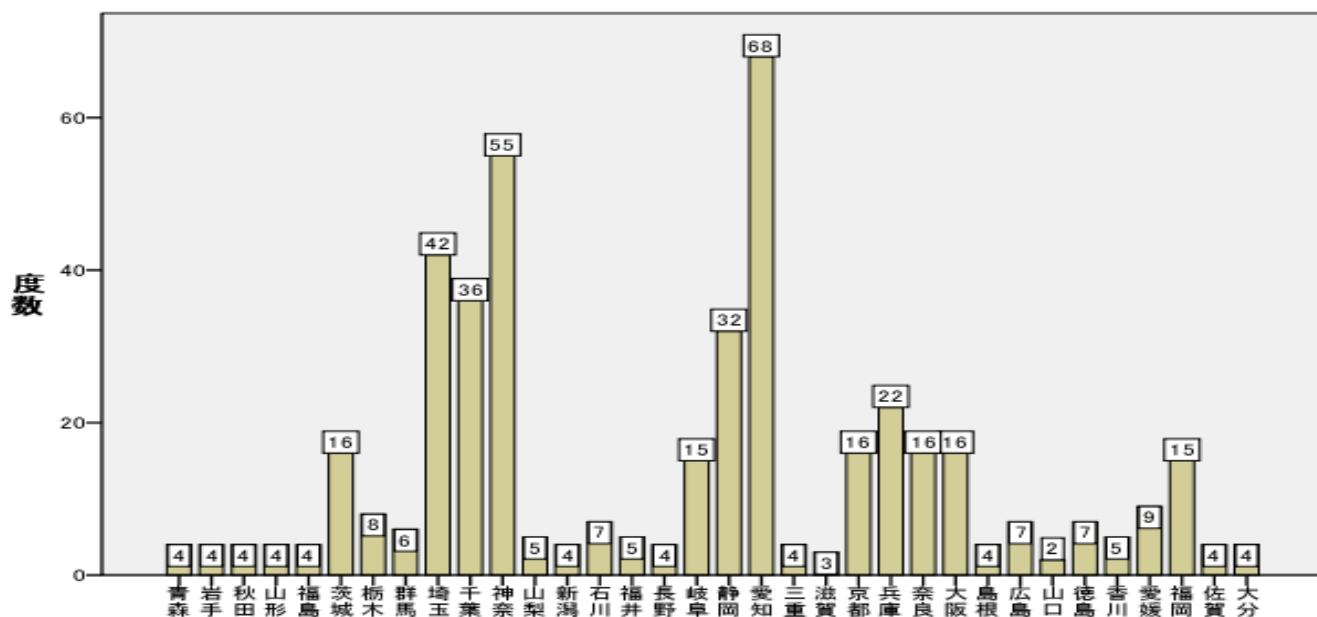
(5)リーダーシップ測定尺度(国立妙高青少年自然の家、2011)

20 項目(課題達成機能：12 項目、集団維持機能：8 項目)

(6)自尊感情尺度(福岡県青少年アンビシャス運動推進室、2010) 10 項目

結果

1：調査協力スカウト：34 府県のボーイスカウト 457 名（男子：326，女子：131）



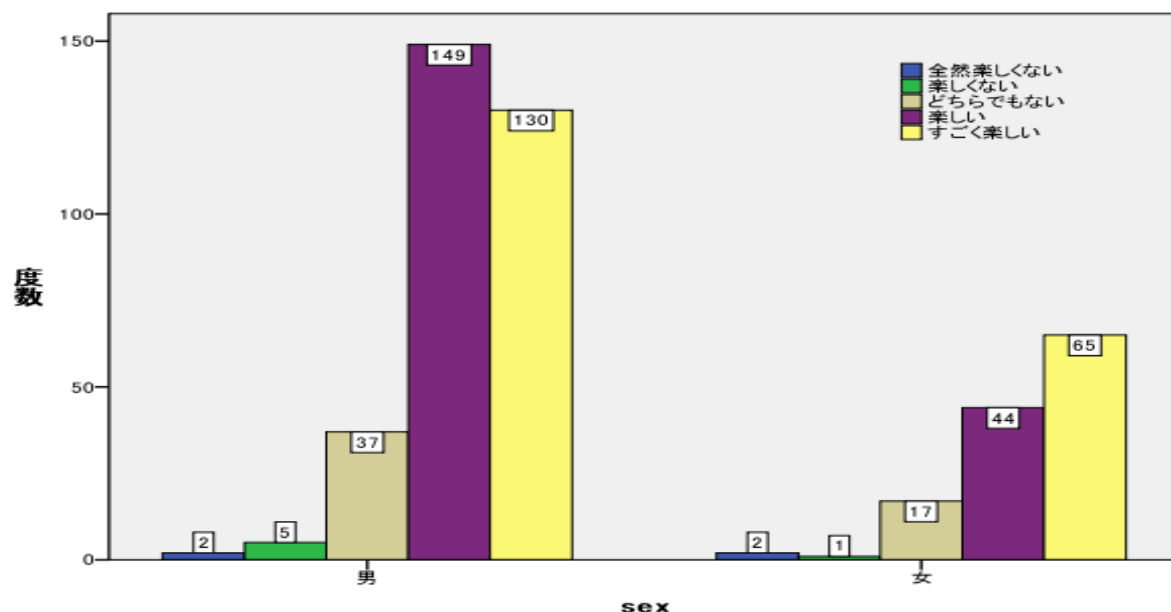
	青森	岩手	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	神奈川	山梨	新潟	石川	福井	長野	岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	兵庫	奈良	大阪	島根	広島	山口	徳島	香川	愛媛	福岡	佐賀	大分	合計
男	1	3	3	3	3	12	6	5	32	26	42	3	3	5	4	3	8	21	47	3	2	13	14	12	10	3	5	2	4	5	8	11	3	1	326
女	3	1	1	1	1	4	2	1	10	10	13	2	1	2	1	1	7	11	21	1	1	3	8	4	6	1	2	0	3	0	1	4	1	3	131
合計	4	4	4	4	4	16	8	6	42	36	55	5	4	7	5	4	15	32	68	4	3	16	22	16	16	4	7	2	7	5	9	15	4	4	457

2 ボーイスカウトの楽しさ

回答者の 85%が、「ボーイスカウトは楽しい」と回答

男女とも、ボーイスカウトは「楽しい」、「すごく楽しい」と考えているスカウトが多かった。

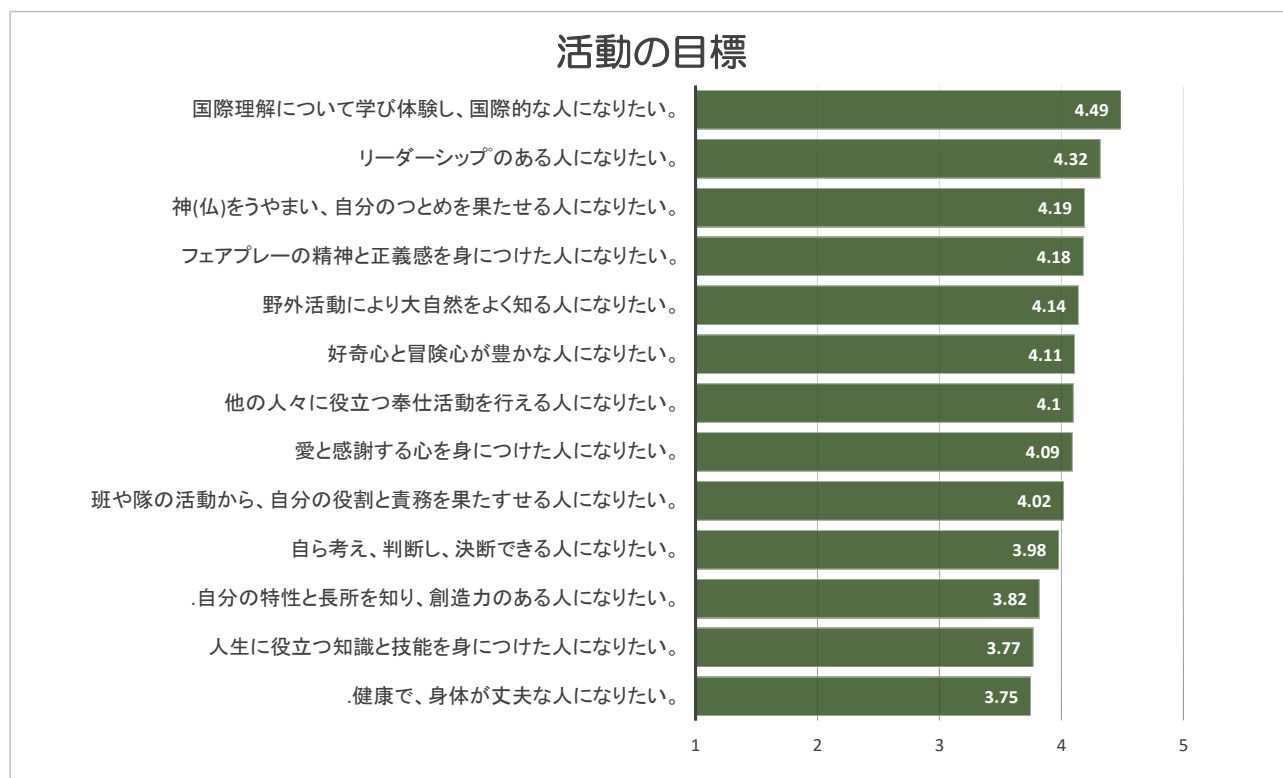
ボーイスカウトは楽しいですか？



3 ボーイスカウト活動の目標

スカウトは、13の教育及び活動目標を意識していた。

教育規定で定める13のボーイスカウトの教育及び活動目標（ボーイスカウト活動の目標(7-23)）について、どの程度そうなりたいかをたずねたところ、すべての目標について、そうなりたいと答えていた（どちらでもない（3点）から統計的に差があった）。

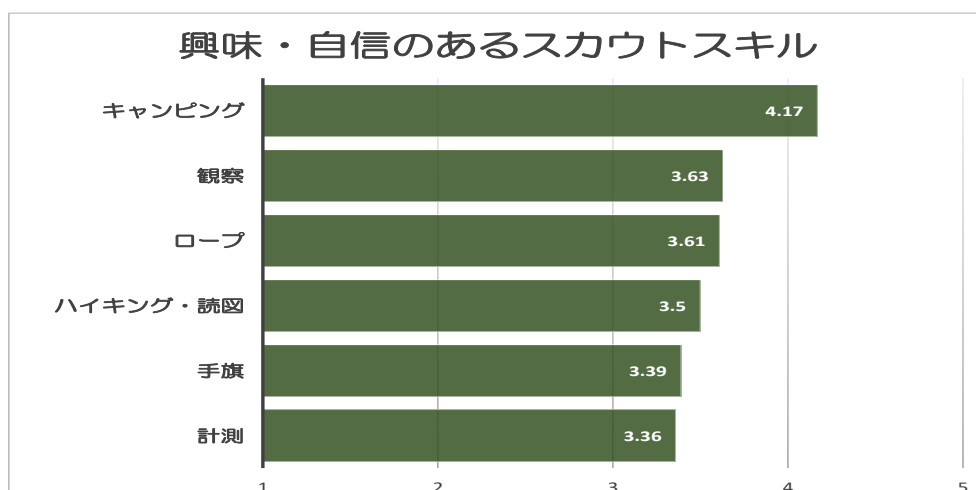


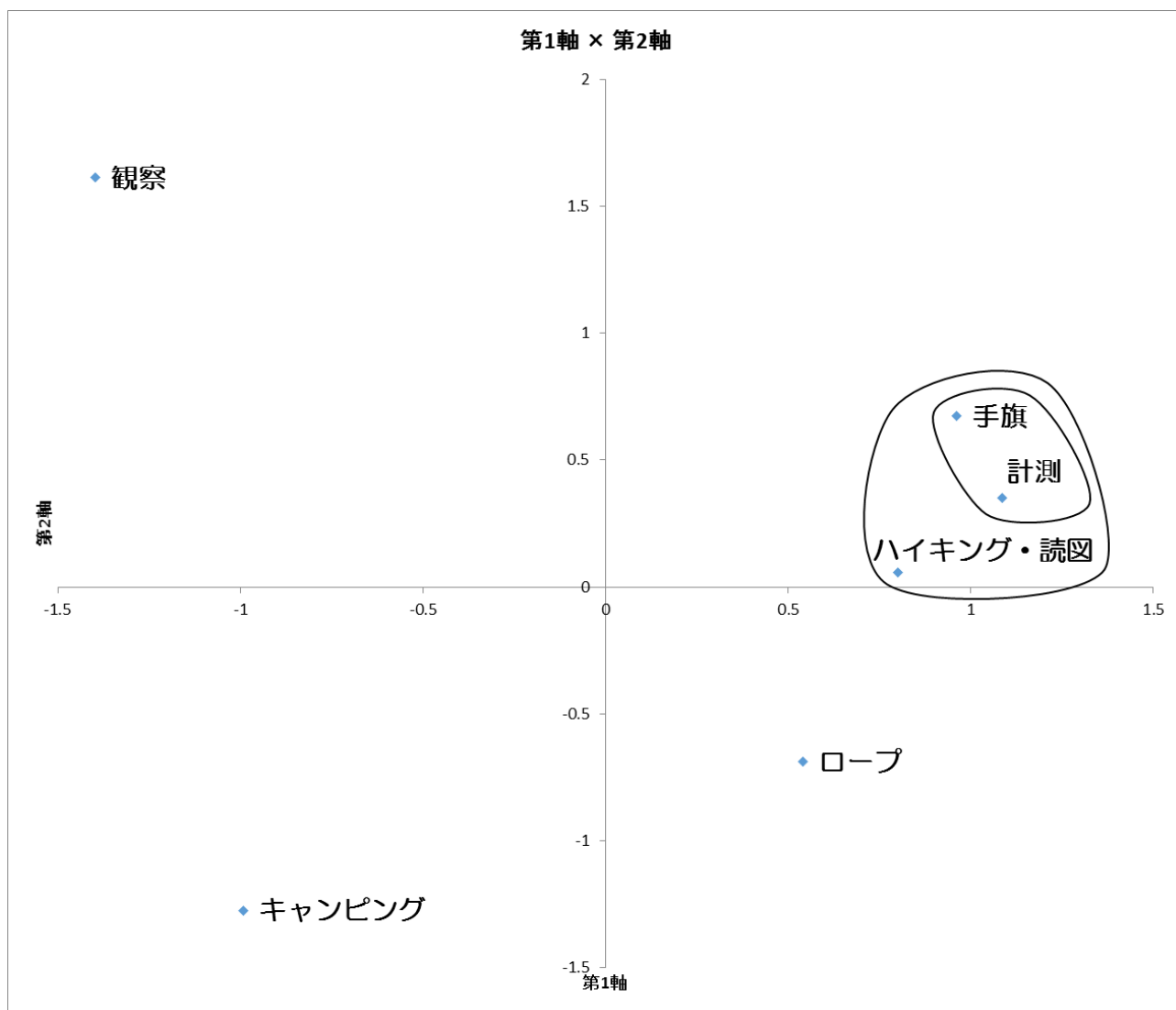
1：まったくあてはまらない、2：あてはまらない、3：どちらでもない、4：あてはまる、5：非常にあてはまる

4 興味・自信のあるスカウトスキル

興味・自信のあるスキルは、キャンプ>観察・ロープ>ハイキング・読図>手旗、計測

6つのスキルのうち、最も興味・自信があるものは「キャンピング」、続いて「観察」と「ロープ」、次に、「ハイキング・読図」、そして「手旗」と「計測」の順であった。





数量化3類によるスカウト技能の分類

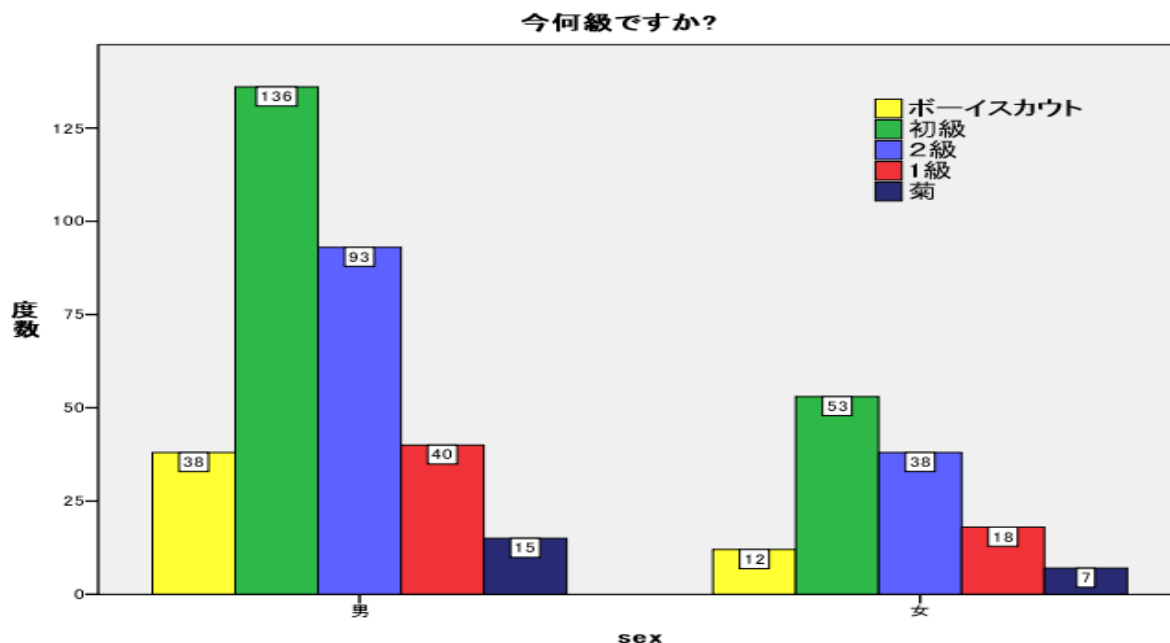
スカウト技能の質的な差異がどこにあるのかを探るため、数量化3類（質的に似ているものが近くに集まる分析）による分析をおこなった。6つのスカウト技能は、①手旗・計測、ハイキング・読図、②ロープ、③キャンピング、④観察の4つに分類されました。

これら4つのスカウト技能のうち、個々のスカウトの特性、興味、関心等に合った技能を見極めることで、より効果的な指導が可能になると言えます。

5 現在の級

回答者の4割は初級スカウト、3割が2級、1級とボーイスカウトが1割。

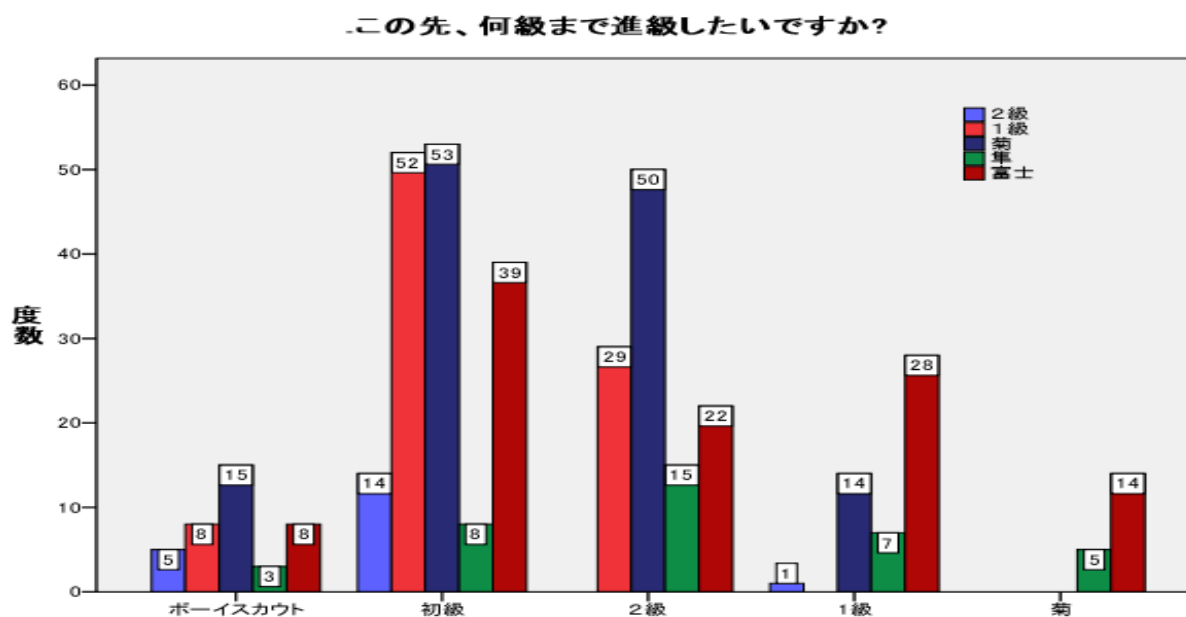
回答者の現在の級は、ボーイスカウト(11%)、初級(42%)、2級(29%)、1級(13%)、菊(5%)でした。



6 進級の希望

富士スカウトを意識するのは、1級進級あたりから。2級までは「菊スカウト」が目標。

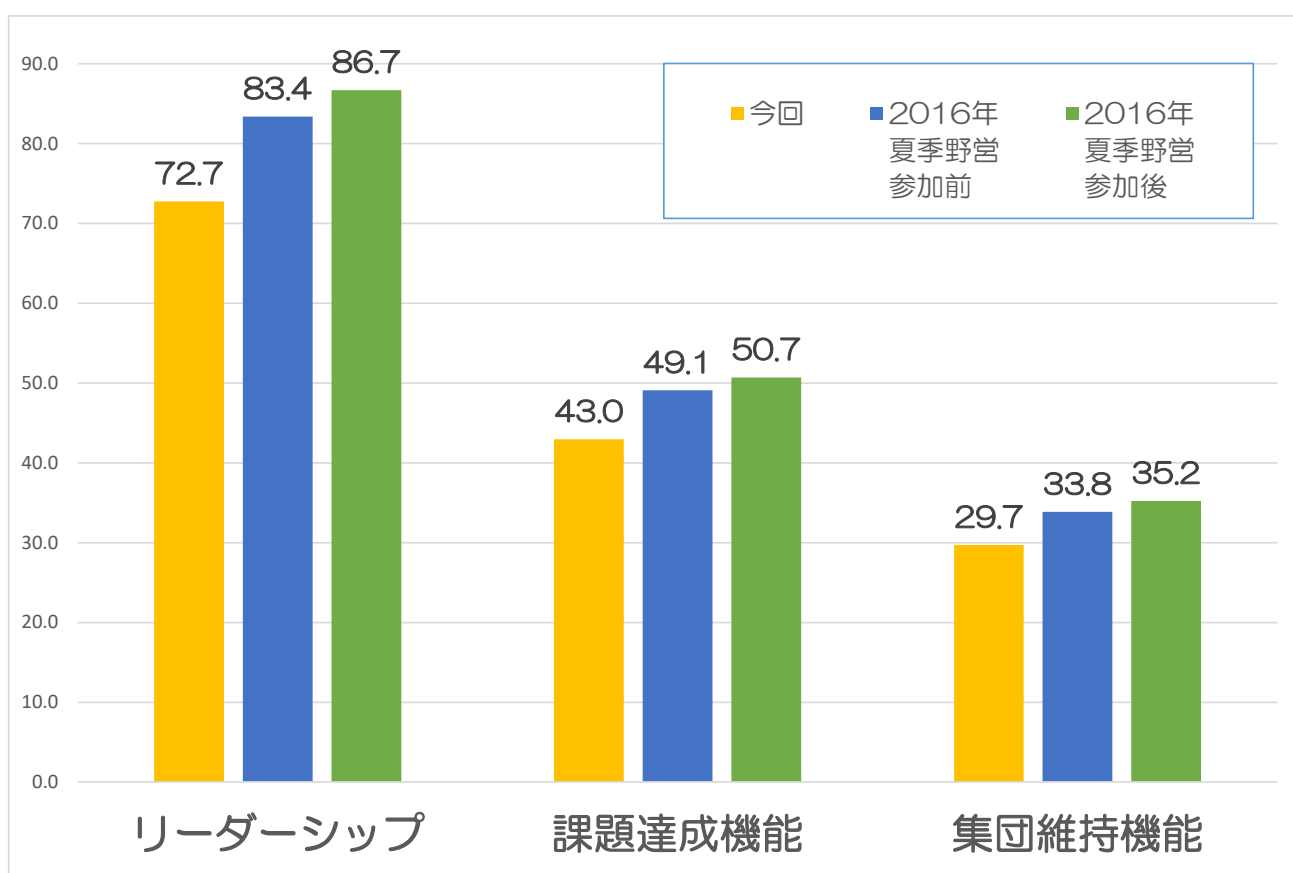
「この先、何級まで進級したいですか？」という質問への回答をみると、ボーイスカウト、初級、2級では、菊、1級、および、富士まで進級したいと希望していた。しかし、1級、菊スカウトでは、富士スカウトへの進級を希望するスカウトが多かった。



7 リーダーシップ

初級、2級スカウトが多いためか、リーダーシップ得点は、やや低め

リーダーシップ得点、課題達成機能得点、集団維持機能得点について、参考のために、田中(2017)の12都県124名(男子101名・女子23名)を対象とした「ボーイスカウトにおける長期野営の教育効果に関する研究」の参加前、参加後のデータと比較してみる。田中(2017)のスカウトは、ボーイスカウト(3%)初級(37%)、2級(37%)、1級(15%)、菊(8%)、今回の調査は、ボーイスカウト(11%)、初級(42%)、2級(29%)、1級(13%)、菊(5%)と若干、今回の調査の方が、低い級のスカウトが多いためか、今回の調査におけるスカウトのリーダーシップ得点は、相対的に低かった。

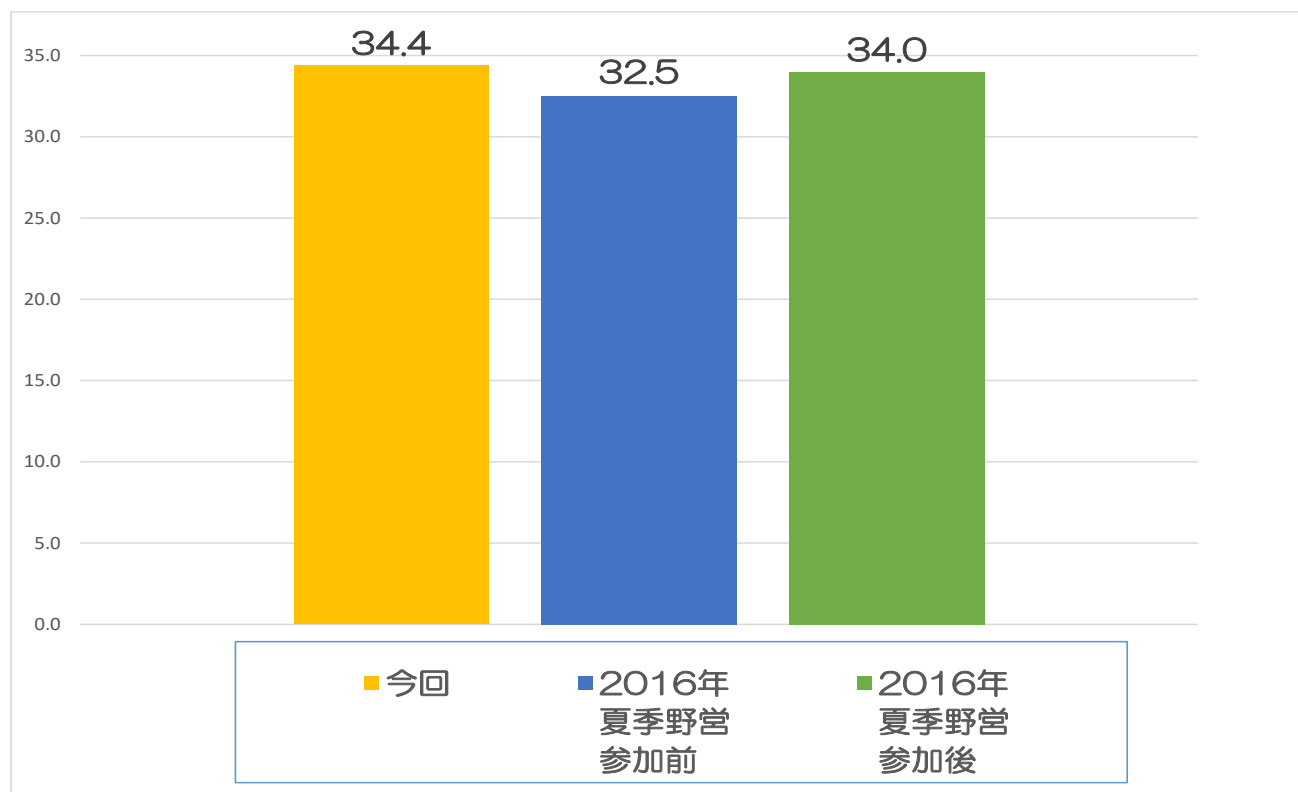


	今回	2016年 夏季野営 参加前	2016年 夏季野営 参加後
リーダーシップ	72.7	83.4	86.7
課題達成機能	43.0	49.1	50.7
集団維持機能	29.7	33.8	35.2

8 自尊感情・自己肯定感

自尊感情・自己肯定感は、差はなし

自尊感情・自己肯定感について、リーダーシップと同様の比較では、今回の調査と田中(2017)とに差はなかった。



9 評価指標：「生きる力」「社会性と情緒の学習」「ストレスコーピング」について

スカウト教育の教育効果の評価指標として、「社会的能力」「愛他心」「問題解決能力」「危険回避」「共感性」「自制心」「自己理解」「身体的耐性」の8因子が抽出された。

因子分析（複数の変数から似た変数をいくつかのグループ（因子）にまとめる分析）の結果、「社会的能力」「愛他心」「問題解決能力」「危険回避」「共感性」「自制心」「自己理解」「身体的耐性」の8側面が、スカウト教育の教育効果の指標として導出された（次ページ）。

2017年4月に調査をおこなった本調査に引き続き、2018年4月に、一年後の事後調査を実施する予定です。事前調査と事後調査との比較をおこなうことで、スカウト教育の教育効果が明らかになります。引き続き、調査へのご協力をお願い申し上げます。

スカウト教育の教育効果の評価指標

		1	2	3	4	5	6	7	8
社会的能力	社会的能力								
	SR16Q67新しい学年でやり替えができて、うまく友だちを作ることができる。	.79	.12	.15	.02	.09	.08	.04	.12
	SR16Q67新しい学年でやり替えができて、うまく友だちを作ることができる。	.78	.04	.09	.02	.09	.18	.08	.12
	SR16Q67新しい学年でやり替えができて、うまく友だちを作ることができる。	.73	.06	.22	-.06	.02	.13	-.11	.13
	SR25Q76もし、転校することになったら、新しい学校でうまくやっていく。	.66	.05	.10	-.02	.13	.08	.00	.22
	SR22Q68周りの人とは、協力してたいのこをうまくやっていく。	.59	.11	.10	.27	.18	.13	.22	.17
問題解決能力	SR10Q56上の学校に進んでも、うまくやっていく。	.52	.11	.10	.17	.16	.13	.13	.23
	SR23Q30だれにでも、あいさつができる。	.51	.14	.31	.09	.11	.12	.01	.04
	SR17Q35自分で問題点や課題を見つけることができる。	.11	.60	.11	.05	.14	.24	.08	.06
	SR10Q56上の学校に進んでも、うまくやっていく。	.10	.59	.13	.07	.10	.21	.13	.05
	SR10Q56上の学校に進んでも、うまくやっていく。	.11	.53	.20	.09	.08	.00	.15	.17
	SR23Q30だれにでも、あいさつができる。	.00	.47	.07	.25	.07	.05	.13	.18
愛他心	SR10Q56上の学校に進んでも、うまくやっていく。	.17	.46	.11	.23	.19	.16	.33	-.02
	SR10Q56上の学校に進んでも、うまくやっていく。	.01	.46	.06	.33	-.04	-.03	.22	.05
	SR10Q56上の学校に進んでも、うまくやっていく。	.30	.43	.07	.29	.15	.18	.29	.05
	SR10Q56上の学校に進んでも、うまくやっていく。	.16	.07	.76	.13	.23	.18	.12	.08
	SR10Q56上の学校に進んでも、うまくやっていく。	.25	.08	.69	.16	.14	.08	-.01	.08
	SR10Q56上の学校に進んでも、うまくやっていく。	.17	.21	.65	.03	.06	.03	.09	.11
危険回避	SR17Q88ほかの人が苦しんでいたら、何かできるかを考える。	.29	.26	.51	.10	.24	.07	.04	.01
	SR17Q88ほかの人が苦しんでいたら、何かできるかを考える。	.05	.17	.03	.70	.06	.14	.16	.06
	SR17Q88ほかの人が苦しんでいたら、何かできるかを考える。	.08	.25	.11	.65	.15	.08	.06	-.07
	SR17Q88ほかの人が苦しんでいたら、何かできるかを考える。	.03	.10	.17	.58	.08	.14	.12	.04
	SR17Q88ほかの人が苦しんでいたら、何かできるかを考える。	.23	.20	.29	.09	.67	.16	.07	.09
	SR17Q88ほかの人が苦しんでいたら、何かできるかを考える。	.28	.23	.26	.14	.62	.18	.11	.07
自己理解	SR17Q88ほかの人が苦しんでいたら、何かできるかを考える。	.17	.10	.19	.17	.59	.17	.16	.19
	SR17Q88ほかの人が苦しんでいたら、何かできるかを考える。	.20	.17	.08	.09	.05	.62	.14	.06
	SR17Q88ほかの人が苦しんでいたら、何かできるかを考える。	.21	.08	.10	.16	.17	.60	.08	.11
	SR17Q88ほかの人が苦しんでいたら、何かできるかを考える。	.15	.16	.10	.13	.14	.59	.08	.01
	SR17Q88ほかの人が苦しんでいたら、何かできるかを考える。	.05	.16	.12	.12	.05	.07	.66	.10
	SR17Q88ほかの人が苦しんでいたら、何かできるかを考える。	.12	.23	.04	.10	.10	.09	.53	.15
身体的耐性	SR17Q88ほかの人が苦しんでいたら、何かできるかを考える。	-.07	.22	.00	.14	.08	.13	.50	.14
	SR17Q88ほかの人が苦しんでいたら、何かできるかを考える。	.25	.11	.13	.00	.04	.08	.08	.57
	SR17Q88ほかの人が苦しんでいたら、何かできるかを考える。	.26	.14	.03	.00	.02	.04	.13	.56
	SR17Q88ほかの人が苦しんでいたら、何かできるかを考える。	.17	.07	.06	.06	.18	.05	.15	.46
	SR17Q88ほかの人が苦しんでいたら、何かできるかを考える。								
	SR17Q88ほかの人が苦しんでいたら、何かできるかを考える。								

本報告書の内容、研究について、ご意見、ご質問は、下記までお願いいたします。

〒206-8540

東京都多摩市唐木田2丁目7番地1号

大妻女子大学 人間関係学部 人間関係学科

社会・臨床心理学専攻

田中 優 (mtanaka@otsuma.ac.jp)

スカウト教育研究プロジェクト (SERP)

安藤正紀、黒澤岳博、櫻井康博、田中 優、中島 豊 (五十音順)